

総合的な探究の時間、適学・適職診断説明会

教務部

自分を知り、進路選択を考えていくきっかけに用いたのが今回の適学・適職診断（タイプ 162）である。実施結果の返却までに1か月程度かかる適性検査だったので、入学当初に実施した。この検査はイギリスで開発されたロジックを日本向けに調整をされた測定ツールで、データはすべて日本人向けの平均値を基準に統計処理されている。

この検査は、毎年、世界40カ国で約1,000万人が受検しているため、豊富なデータベースから、生徒一人ひとりの特徴を客観的に割り出せる診断ツールである。

今回の取り組み内容は、以下である。

記

- 1 検査実施 平成31年4月15日（月）7校時（総合的な探究の時間）
- 2 実施対象 1年生80名
- 3 検査名称 適学・適職診断（タイプ162）（マイナビ進学）
- 4 説明会日 令和元年5月27日（月）7校時（総合的な探究の時間）
- 5 説明担当 担当はマイナビ進学より派遣
- 6 診断結果 「興味・関心」と「行動傾向性」を探ることで、学問116種類、職業284種類、業界45種類の結果が1～10段階で示され、気づかない「分野」を発見、そして「知る」ことができ、テキスト等を利用して「調べる」ことができる診断結果とテキストの構成になっている。
- 7 説明会 結果の見方、調べ方以外にも、以下の点を説明された。
 - ① 「知る」ことの大切さ、知ることが増えると選択が変わる点
 - ② 社会変化、急速に変化する世の中がこれから学ぶこと、将来の働き方にも関わる点
 - ③ コンビニエンスストアの陳列から学問と社会が繋がっている点など分かり易く解説して頂いた。以下にその時の様子を写真で掲載します。



写真1 講演会直後の様子



写真2 解説を受ける生徒の様子



写真3 配付物



写真4 講演のパワーポイント1

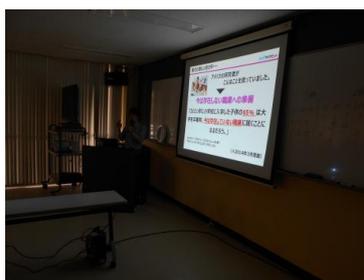


写真5 講演のパワーポイント2



写真6 解説の様子